

南会津町の湿原を守る会だより

第一〇号

●平成27年度は、会の事業と協力事業をいくつか実施しました。研修では、群馬県沼田市の玉原（たんばら）高原観察と、ブナ植樹を研究・実施している現地の会の皆さんの話を聞くことが出来ました。沼田市のサイトでは「玉原高原は、東京から一番近いブナ林」と言う言葉で周知しています。「玉原高原のブナを守り育てる会」の皆さんは、ブナ植樹後の観察を丁寧に行い、データを分析し地道な研究と活動を行っていました。少し遠い場所への研修でしたが、違う土地での活動を観察することが出来、参考にすることが出来ました。

委託事業では駒止湿原周囲の開拓農道での外来種駆除や、湿原内木道の補修を行いました。木道は、水無谷地の終点からおよそ240m、「すのこ」を敷き、固定しました。暑い中、お疲れ様でした。

●9月 台風18号の影響で大きな被害 9月7日から降り続いた豪雨、「関東東北豪雨」により、南会津町各地でも多くの被害が出ました。田島地域では、国道389号の道路の崩落、檜沢川の堤防の決壊、床上、床下浸水などの被害が出ました。館岩地域では、土砂くずれ、道路崩落、堤防決壊、田畑が流され、電柱倒壊と数えきれない被害が出ました。たのせ地区や、熨斗戸地区などは家屋や工場の倒壊も多く、多くの住民が被災しました。駒止湿原への道路も針生側が大きな被害を受け、通行できなくなりました。道路の復旧まで2〜3年かかる見込みですが、南郷側は28年度に復旧との情報がきています。

湿原はやっぱり素晴らしい！

駒止湿原は3年まえから5月の第3日曜日が山開きとなりました。湿原には小さなミズバショウやワタスゲの花を見ることが出来ました。双苞ミズバショウも発見。ワタスゲの時期に入山者が多いですが、どの花も皆さんを癒してくれます。



玉原高原 & 研修 7/11



出前講座で散策前授業

6月 田島小学校にて
湿原の特徴や植物を説明。
葉っぱのニオイをかいで「湿原のかおり！」と紹介。歓声が上がった。
昆虫についても楽しく授業。
虫が大好き！
現地散策の案内は駒止湿原案内の会さん。



7/17 外来植物除去作業



開拓農道 種が落ちないように、花から丁寧に除去。ヒメジオン、ヘラオオバコ、ブタクサ、ブタナを中心に除去。

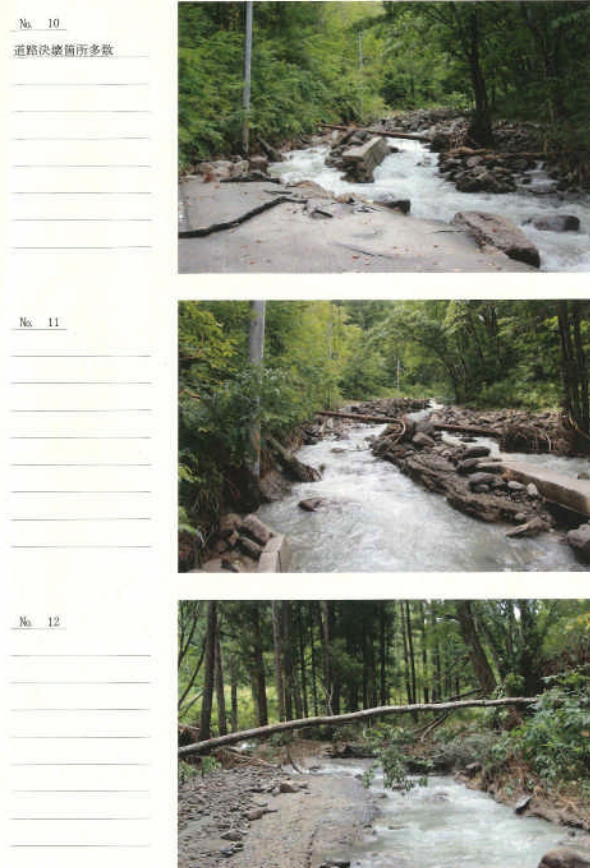


苗採取、移植

6月、補植に向けて、高校生と高校敷地内へブナ苗を移植した
主催：駒止高原癒しの森交流促進事業
(写真はありません)

豪雨被害

針生側は道が川となった



大きな幹にも驚く。植樹では同じ場所に2本のブナを植え観察を行う



木道補修 7/31



「すのこ」を腐食した部分へ敷き、固定。(固定は大工さん) 歩きやすく、事故防止にも



編集後記

会が発足し、10年が過ぎました。第10号をお届けします。平成27年度は9月の豪雨により道路が流されてしまいました。しかし、湿原はまた変わらず、花を咲かせてくれるはず。自然は怒る恐ろしいが素晴らしい。

平成28年3月(2016年3月) 事務局 阿部徳子